せいかつ探検隊

ヨシタケシンスケさんにインタビュー

ヨシタケシンスケさんと考える

こんなとき どうする？

2023
特別号

内容解説資料

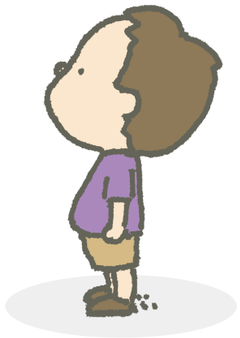
本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村図書

ヨシタケシンスケさんと考える

こんなとき どうする?

子どもたちのありのままの姿を、温かなユーモアとともに描く、絵本作家のヨシタケシンスケさん。
令和6年度版生活科教科書『せいかつ たんけんたい』には、
自分の個性を大切にしながら学んでいく子どもたちの姿を描いていただきました。
そんなヨシタケさんに、子どもたちと向き合うなかで
教師が抱くよくある悩みについてうかがいました。



ヨシタケシンスケ

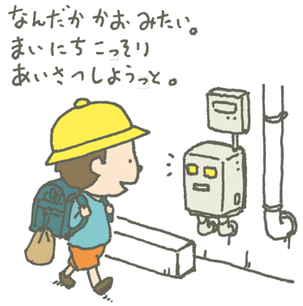
1973年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。日常のさりげない一コマを独特の角度で切り取ったスケッチ集や、児童書の挿絵、装画、イラストエッセイなど、多岐にわたり作品を発表。『りんごかもしれない』で第6回MOE絵本屋さん大賞第1位、第61回産経児童出版文化賞美術賞、『もうぬげない』で2017年ボローニャ・ラガッツィ賞特別賞、『このあと どうしちゃおう』で第51回新風賞を受けるなど数々の賞を受賞。そのほか『思わず考えちゃう』『なんだろう なんだろう』『あんなに あんなに』『かみはこんなに くちゃくちゃだけど』『日々臆測』など著書多数。2児の父。

Q 毎日の生活の中で、子どもたちがおもしろいことを見つけるコツってありますか。

上巻p23より　それとも、せんせいかな?

僕の場合、想像によっておもしろさを膨らませることがあります。例えば、これはこの後どうなるんだろうとか、なんでここにあるんだろうとか、前後の状況や理由を考えてみる。無理して見つける必要はないけれど、友達どうしでやってみると、そういうお題にやたらと強い子がいたり、意外な発見につながったりして、おもしろいかもしれません。

そして、おもしろいことを見つけたとき、それを覚えておけるように、絵や文字でちょこっと記録を残したり、先生や家の人に話したりするといいと思います。自分がおもしろいと思ったものをコレクションしていくんです。そうすると、自分はどんなことをおもしろいと思うのか、逆に何に興味がないのか、だんだん志向がわかってくる。そういう気づきって、生きていくうえで大切なことだと思っています。次におもしろいものを見つけるときのヒントになるし、モチベーションにもなるんじゃないかな。

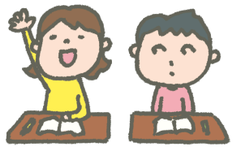


上巻p27より

Q 学習材に興味がもてない子、やりたいことが見つからない子にどのように対応したらいいと思いますか。

僕は先生方のようなノウハウをもっているわけではないので、あくまでも絵本作家としての考えですが、そもそも大人でも、毎日常に意欲的なわけではないですよね。日によって違って当然。だからまずは、そんなときもあるよねって認めてあげてほしいと思います。

上巻p10より



下巻p99より

みんなで何かに取り組むと、乗り気ではない子も必ず出てくると思います。僕も教室でじっとしているタイプでした。そんなとき、無理やり前に引っ張り出されるよりも、そっと見守っていてほしい。先生がちゃんと気にかけていることを要所要所で合図してくれれば、子どもは安心できるし、そのうちおもしろいと思ったタイミングで自分からぐっと乗り出すかもしれない。

まずは見守ることで子どもとのいい関係を築いて、最終的に、子どもたち一人一人が、自分らしい方法で学習材と関わることができたらいいですね。

令和6年度版生活科教科書『せいかつ たんけんたい』には、教室でぽつんとしている子や、ちょっと不安そうにしている子など、まさにそんな子どもたちがたくさん登場しています。

Q 子どもの自己肯定感を高めるには、どうしたらよいと思いますか。

まず何よりも、その子の光るものを見つけたときに、ぱっと褒めてあげたいですね。子どもは、「気づいてくれた！　先生はしっかり見てくれているんだ」とわかったときに嬉しくなるんだと思います。

また、特に気にかけたいのは、みんなの前で褒めてほしい子と、こっそり褒めてほしい子の見極めでしょうか。引っ込み思案な子を急に目立たせてしまうと、とまどってしまうかもしれない。褒め方の使い分けがとても大事な気がします。

下巻p95より

あとは、いろんな認め方をするということでしょうか。例えば、「先生も知らなかったけど、こういう考えもあるみたいだよ」とみんなの中で遠回しに認める。「君の考えはユニークだけど間違いではないんだよ」と、ぜひ教えてあげたいですね。

Q ちょっとした失敗で しょんぼりしてしまう子に、どんな声をかけたらいいでしょう?

しょんぼりしてしまった心には、どんな言葉をかけても、なかなか響かないんですよね。だから、低学年の子の場合は、いかに早めに別のことに切り替えさせるかが大事な気がします。失敗の原因を掘り下げても、年齢的に未熟でどうしようもなかったりしますが、逆に言うと、気持ちの切り替えが得意な年ごろでもあるので、一回リセットして別の活動に興味を向かせることが立ち直るコツかなと思います。

それから、物事の捉え方を変えるという方法もありますね。つまり、一人だけ別の成功をしたというふうに捉えてしまう。例えば、自分のアサガオが大きくならなかったときに、「ちっちゃいままでいるのがすきみたい!」と考えれば、失敗ではなくなりますよね。

下巻p27より

上巻p37より

失敗が当たり前であることを、子どもたちに日頃から伝えることも大切ですね。「先生も失敗することがあるし、うまくいかなくてもあなたが悪いわけじゃない」と事前に言っておくことで、安心していろんなことにチャレンジできるのではないでしょうか。

動画公開中!

ヨシタケシンスケ、「せいかつ たんけんたい」を語る

こちらのページからご覧いただけます

https://www.mitsumura-tosho.co.jp/06s-kyokasho/seikatsu/

光村図書ウェブサイト 光村図書 検索

小・中・高等学校教科書訂正のお知らせ

光村図書LINE公式アカウント友だち募集中!

光村図書

せいかつ探検隊　特別号　2023年12月10日発行　内容解説資料
発行人　吉田直樹
発行所　光村図書出版株式会社　〒141-8675　東京都品川区上大崎2-19-9　TEL.03-3493-2111
URL　www.mitsumura-tosho.co.jp
デザイン　鷹觜麻衣子　表紙イラスト　ヨシタケシンスケ　写真　長岡博史
印刷所　光村印刷株式会社
【教育情報誌に関するお問い合わせ先】住所変更・配送停止：ej1@mitsumura-tosho.co.jp　ご意見・ご感想：koho@mitsumura-tosho.co.jp